

進路通信

第3号
平成29年 3月16日
新座市立第二中学校
進路指導部発行

3月15日(水)に第45回『卒業証書授与式』が終わり、328名の生徒が二中を卒業していきました。ひとり一人が考え悩み選択した新しい環境で、希望に満ちて大きく成長することを楽しみにしています。

今年も二中では、1年で《中学校生活と学ぶこと》、2年で《職場体験》《上級学校調べ》、3年で《卒業生の体験に学ぶ会》、全学年対象のふれあい講演会などを通して、進路学習に取り組んできました。「進路学習で学んだこと、授業・委員会などの諸活動・行事などを通して学んだこと・身につけたこと・感じたこと」、また、「県公立高校や私立高校などで頻繁に行われている体験入学・説明会・見学会などへの積極的な参加や文化祭等の見学を通して、その学校の様子を自分自身で眼で見たり感じたこと」を通して、将来の目標や希望へ進んでいくために、ひとり一人がしっかり考えて三年生での進路選択をして欲しいと思います。

中学卒業後の進路は、高等学校・高等専門学校(5年制)・専修専門学校・サポート校(主に通信制高校の学習)・就職になります。高校では、国立・県公立・私立があり、授業の時間帯や形態などで全日制・定時制・通信制・単位制に分かれ、学科では普通科・総合学科・専門学科(農業・工業・商業・家庭・看護・外国語・芸術・体育・理数・福祉・人文・国際文化・生物・環境の関連学科)など多様になっています。私立高校では、特進や総合進学コース等普通科がより細分化されています。

◇本年度の進路選択について◇

埼玉県公立高等学校の入学者選抜の学力検査において、社会科・理科の学力検査の時間が40分から50分になり、一部の高等学校において数学と英語で学校選択問題が実施されるなど制度に変化がみられましたが、進路選択への全体的な取組としては、従来と大きな変化もなく無事に入試を終えることができました。本校の最終的な進路選択では、早い時期から県内私立高校への進学を希望する生徒が多く、これは県内私立高校生徒に対する県からの支援制度の充実も一つの要因と考えられます。また、入試を終えて感じることは、私立高校の推薦入試が終わってから県公立高校の入試まで期間が1ヶ月半近くありましたが、最後まで授業に集中して、受検や入学後の学習に向かって努力できた生徒が多く、落ち着いた雰囲気での学習に取り組めていました。その結果埼玉県公立高等学校への進学割合が54.6%という状況になりました。

本年度の埼玉県公立高校一般募集の平均倍率は1.16で、全日制的普通科1.22、専門学科1.10、総合学科1.11、定時制全体では0.55でした。また、県教育委員会の学力検査予想平均点は、計56点(国語55点、数学48点、社会55点、理科50点、英語48点)で、数学英語がやや優しくなり、他の3教科は例年並みとしている。学校選択問題は数学60点英語65点の予想です。

◇朝霞地区内の高校(全日制)の倍率

高校名	本年度	昨年度	高校名	学科	本年度	昨年度
新座	1.07	1.11	和光国際	外国語	1.58	1.70
新座柳瀬	1.05	1.13	新座 総合 技術	電子機械	0.85	0.72
朝霞	1.15	1.04		情報技術	1.00	1.10
朝霞西	1.25	1.35		デザイン	1.03	1.15
志木	1.09	1.61		総合ビジネス	0.65	0.82
和光国際	1.30	1.47		服飾デザイン	0.85	0.95
和光	1.06	1.01		食物調理	1.25	1.30

◇新座二中の卒業生の進路先の推移状況

	国県公立高校	県内私立高校	県外私立高校	通信制高校・専修学校等
28年度	55.8%	25.3%	14.9%	2.1%
27年度	49.7%	35.9%	11.4%	3.1%
26年度	52.1%	32.9%	12.9%	2.1%
25年度	56.8%	25.6%	15.9%	1.7%
24年度	63.8%	25.2%	8.7%	2.3%
23年度	63.5%	21.2%	11.0%	5.3%

◇本年度の卒業生の進路先高等学校一覧（3月13日現在）

(1) 国立高等学校：筑波大学大学附属坂戸

(2) 埼玉県公立高等学校等(△5人以上、◇10人以上、○15人以上の進学者がいる高校)

① 全日制・普通科：新座○、新座柳瀬◇、朝霞○、朝霞西◇、志木◇、和光△、和光国際△、富士見、
 駒川越△、川越女子△、川越南、川越初雁、ふじみ野、坂戸、松山、松山女子、所沢△、所沢北、
 所沢西、入間向陽、日高、駒浦和、浦和第一女子、浦和西△、浦和北、大宮南、大宮武蔵野、与野、
 川口北、南稜、越谷南、駒川越、駒浦和、駒浦和南

② 全日制・専門科：和光国際・蕨・坂戸⇒外国語、川越総合⇒総合学科、浦和商业⇒商業、
 新座総合技術⇒電子機械・情報技術・デザイン・総合ビジネス・服飾デザイン・食物調理、
 市立川越⇒情報技術、川越工業⇒機械、浦和工業⇒電気、ふじみ野⇒スポーツサイエンス、
 大宮光陵⇒美術、芸術総合⇒舞台芸術・音楽、杉戸農業⇒生物生産技術、

③ 定時制：戸田翔陽(総合学科・Ⅱ部・Ⅲ部)△ ④ 特別支援学校：所沢おおぞら特別支援

(3) 私立高等学校全日制(△5人以上、◇10人以上、○15人以上の進学者がいる高校)

① 埼玉県内：秋草学園、浦和学院△、浦和実業学園、浦和麗明、叡明、大妻嵐山、大宮開成、川越東、
 慶應志木、埼玉平成、埼玉栄、自由の森学園、狭山ヶ丘、秀明英光、淑徳与野、城北埼玉、聖望学園、
 西武台△、東京農業大学第三、獨協埼玉、東野、武南、星野△、細田学園○、武蔵越生、山村国際、
 山村学園△、立教新座、

② 埼玉県外：青山学院、国学院、淑徳△、淑徳巣鴨、順天、城西大学附属城西△、城北、白梅学園、
 成立学園、大東文化大学第一△、帝京、貞静学園、東京音楽大学附属、東京家政大学附属女子、
 日本大学豊山、日本大学豊山女子、日本大学第二、八王子学園八王子、文京学院大学女子、
 明星学園、明治大学附属中野八王子、流通経済大学柏、前橋育英

(4) 私立通信制高等学校：大川学園、NHK学園、屋久島おおぞら、ヒューマンキャンパス、
 飛鳥未来、星槎国際

☆平成30年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の主な日程（現在の中学2年生）

◇一般募集日程

2月19日(月)・22日(火)：出願期間

22日(木)・23日(金)：志願先変更期間期間

3月1日(木)：学力検査(5教科)

2日(金)：実技検査(芸術・体育系学科等)・面接(一部の高校)

9日(木)：入学許可候補者発表 ★欠員補充を実施する場合は高校毎に定める

☆平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜について（抜粋）

① ・学力検査は、1教科100点で5教科(国・数・社・理・英)の500点満点で実施。

・調査書の各学年の教科評定の割合は、各高校で定め教科評定を得点化。

・調査書記載内容(評定以外の部分)と面接や適性検査は、各高校の選抜基準に基づき得点化。

※学校選択問題は20校、面接は74校、実技検査は10校で実施されました。

② 各高校の選抜基準により第一次選抜・第二次選抜・第三次選抜により入学許可候補者を選抜する

※第三次選考を行わない高校もあります。

③ 2次募集は実施しない。→定員に満たない高校は、欠員補充を実施する。

◇二中の生徒が受検することが多い県公立高等学校について

① 学校選択問題実施校：和光国際、駒川越、川越女子、川越南、所沢、所沢北、駒浦和、浦和西、
 浦和第一女子、大宮、蕨、川口北、市立浦和などの全日制

② 面接実施校：浦和工業、川越工業、川越総合、川越初雁、志木、新座、新座総合技術、新座柳瀬、
 富士見、ふじみ野、和光、市立川越、朝霞(定時制)など

③ 実技検査実施校：ふじみ野(スポーツサイエンス)、芸術総合(舞台芸術)など体育・芸術系

④ 傾斜配点実施校と教科名：和光国際や南稜などの外国語科の英語です。大宮などの理数科の
 数学・理科が傾斜配点です。※傾斜配点は、100点満点の所が200点満点となります。

☆私立高校の入試では、埼玉県内と都内の高校では、例年1月22日頃からの推薦入試を行い、
 大多数の生徒がこの推薦入試を受験しています。埼玉県内私立高校では、一般入試を受験する
 生徒が減少しているため、推薦入試と同時期に実施する高校があります。私立高校の推薦
 入試は、学校推薦と自己推薦の二通りがあります。多数の私立高校では、1学期の成績がで
 た夏休み以降に学校説明会及び個別入試相談が実施され、相談上で受験の方法等が決まります。
 学校推薦に関しては、校内で会議を経て決定していきます。また、県内の私立高校では、
 併願の手続き延納金が必要な学校があります。

☆3年生対象の埼玉県南部地区校長会主催の学力検査が、3回(8月・10月・1月)実施されます。